

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

令和 7（2025）年度 Tokyo Artist Accelerator Program 公募ガイドライン

「Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）」は、
自立した継続的な活動を目指す美術・映像分野の
若手アーティストを支援するプログラムです。

● 募集期間：

2025 年 10 月 15 日（水）10 時から

2025 年 11 月 26 日（水）17 時まで

● 支援期間：

2026 年 4 月から 2026 年 11 月まで（予定）

● アーツカウンシル東京とは

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

Tokyo Artist Accelerator Program に関するお問合せ先

Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）事務局

Tokyo Artist Accelerator Program ホームページ お問合せフォームをご利用ください。 <https://taap.art/>

目次

1.	概要	2
2.	応募対象となる分野・アーティスト	2
3.	応募対象とならない分野・アーティスト	3
4.	選考の観点	3
5.	支援の内容	4
6.	選考委員及びメンター	6
7.	選考のプロセス	6
8.	応募受付期間	7
9.	応募手順・応募書類	8
10.	応募上の注意	10
11.	個人情報の取扱い	11
12.	支援アーティスト決定後の対応について	11
13.	お問合せ先	11

1. 概要

「Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)」は、自立した継続的な活動を目指す美術・映像分野の若手アーティストを支援するプログラムです。

アーティスト自身によって作品を語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートします。

選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと 8 ヶ月にわたる継続的なメンタリングを実施し、国内外の現代アート関係者へ向けてスピーチする機会 (TAAP Live) を創出することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援します。

2. 応募対象となる分野・アーティスト

(1) 対象分野

美術・映像

- 平面（絵画、版画、写真等）
- 立体（工芸を含む）
- 映像（アニメーションを含む）

(2) 対象アーティスト

次の各項目に掲げる要件をすべて満たしていること。

- ① 日本在住で東京での活躍を目指している個人
- ② 次年度中（2026 年 4 月～11 月）実施する交流会、中間報告会、プレゼンテーションに至るメンタリングと成果発表（TAAP Live）に参加可能であること。
- ③ 日本語でのコミュニケーションが十分に可能であること。（日本語能力試験 JLPT：N1 相当）
- ④ 対象分野において、都内で作品を公開（個展、グループ展等）する活動を初めて実施してから 3 年以上 10 年未満であること。または、都内で作品を公開する活動実績が 5 回以上 10 回以内であること。ただし、学内展示はグループ展に含めないものとする。

※ 「3 年以上」…初めての個展等が 2023 年 4 月 1 日を会期に含むもの、

「10 年未満」…初めての個展等が 2016 年 3 月 31 日までに会期が開始されたも

のまでとします。
※バーチャル展覧会、オンライン展覧会は対象となりません。

3. 応募対象とならない分野・アーティスト

(1) 対象とならない分野

○演劇、舞踊などの舞台芸術

○建築

(2) 対象とならないアーティスト

① 海外に在住している者

※日本に居住していることを確認するため、本選考の際に居住確認書類（個人番号カード〈マイナンバーカード〉（表面のみ）、運転免許証（住所変更している場合は、両面）、各種福祉手帳、2026年11月以降が期限の在留カード、特別永住者証明書、健康保険証＋住民票）のうちいずれか1つを確認させていただきます。

② 対象分野における都内での活動実績が、条件を満たさない者

例：都内で作品を公開（個展、グループ展等）する活動を初めて実施して3年未満で回数が5回未満（あるいは11回以上）の者

都内で作品を公開（個展、グループ展等）する活動実績が10年以上で回数が5回未満（あるいは11回以上）の者

③ グループで活動しているアーティスト

※個人として応募する場合は、対象となります。

④ 暴力団員等（東京都暴力団排除条例〔平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という〕第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。以下同じ）の者

4. 選考の観点

選考にあたっては、以下のア～エの観点を重視し、選考委員が総合的に審議し、支援アーティストを決定します。

ア 飛躍の可能性がある提案

- ・提案作品に世界的なアートの潮流や市場で通用する可能性があり、自身が語るアーティストとしての目的や目標と創作活動に整合性がある。

イ 独自性のある提案

- ・アーティストとして自身の唯一性の所在を自覚し、なぜ自身が制作するかという問いに答えられており、世界の美術史・美術思潮の中で自身を位置づける視点がある。

ウ 現在性のある提案

- ・現在活動するアーティストであることを自覚し、なぜいま制作するかという問いに答えられており、同時代的な視点から作品を位置づけている。

エ 説得力がある提案

- ・プレゼンテーション方法と提案内容に整合性があり、用いられている言葉がわかりやすく、多くの人が内容を理解できることが想定できる。

5. 支援の内容

本選考により選出され、本事業への参加を承諾した支援アーティストに対して、以下のとおり支援を行います。

(1) 制作支援金の支給

創作活動やリサーチ、TAAP Live での展示等に、自由に活用できる制作支援金を支給します（2026 年 3 月予定）。

制作支援金：495,000 円

※TAAP Live や中間報告会等、本事業参加に関わる経費（交通費等を含む）は、すべてアーティスト側での負担となります。

(2) プレゼンテーションを軸に実施するメンタリング・プログラム

ギャラリストやアーティスト、コレクター、キュレーターら多様な背景を持つ現代アートのスペシャリストによって構成される選考委員及びメンターと継続的な対話を実施します。支援アーティストのプレゼンテーションを軸に

「プレゼンテーション⇒アドバイス⇒メンタリング⇒プレゼンテーション」を 8 ヶ月にわたって繰り返すことで、作品を語る力の向上とコンセプト強化を促し、支援アーティストの成長を後押しします。メンタリングの中では、国内外の芸術文化関係者とのネットワーキングもサポートします。メンタリング・プログラムのスケジュールは以下の通りです。

2026 年 4 月	選考委員・メンター・支援アーティスト交流会
4 月～6 月	メンタリング期間①
7 月	第 1 回中間報告会
7 月～9 月	メンタリング期間②
10 月	第 2 回中間報告会
10 月・11 月	最終メンタリング期間
11 月（予定）	成果発表（TAAP Live 2026）

○メンタリング

選考委員のアドバイスに基づいて、作品のコンセプトやプレゼンテーションを磨き上げるため、1 回 30 分のメンタリングを 2 回／月程度実施します。なお、メンタリングは Web 会議ツールを使用してオンラインにて実施します。メンター及びメンタリングの日時は、メンターと支援アーティストの予定を事務局が調整の上、決定します。日時調整の都合により、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※支援アーティストが使用する PC などの電子機器及びインターネット環境は、支援アーティストの負担となります。

※国外滞在中も実施可能です。その際、日本時間で実施しますので時差にご留意ください。

○中間報告会

7 月と 10 月に都内でプレゼンテーションを行い、選考委員からアドバイスを受ける中間報告会を実施します。

※Web 参加ではなく、実際に出席することが必要です。

（3）TAAP Live 2026（成果発表）の実施

2026 年 11 月（予定）に、国内外のギャラリストやコレクター、キュレーターを含むオーディエンスに向けて、支援アーティストが自身の力で作品について語るステージを創出します。

※展示に使用する壁、プレゼンテーション資料を再生するモニター 1 点は運営側で用意しますが、その他必要と思われる機器・備品は各人での手配とします。

※本事業は、アーティストの語る力の向上とコンセプト強化を主目的としていますので、TAAP Live での展示はあくまでもプレゼンテーションを補完する位置づけとなります。そのため展示物は完成作品でも構想中の制作物等でもかまいません。

6. 選考委員及びメンター

※2025/9/26 現在

選考委員（支援アーティストの選考及び中間報告会でのアドバイス）

- 上田 杏菜 （公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館 学芸員）
鷹野 隆大 （写真家／東京造形大学教授）
田口 美和 （タグチアートコレクション 共同代表
サンパウロ・ビエンナーレ インターナショナルアドバイザリーボードメンバー）
細井 眞子 （TARO NASU ギャラリー ディレクター）

メンター（メンタリング・プログラムにおけるアドバイス）

- 栗田 大輔 （美術批評）
江幡 京子 （アーティスト）
藤元 由記子 （株式会社ブックエンド代表取締役
NPO 法人アート＆ソサイエティ研究センター理事）

7. 選考のプロセス

（1）一次選考（2025 年 12 月）

応募された書類（都内での作品公開歴、アートワーク・プレゼンテーション・データ）及び応募フォームに入力された情報に基づいて、選考を実施します。一次選考通過者は選考委員によって選考します。

一次選考結果については、結果にかかわらず 2026 年 1 月中にメールにて通知を行います。通過者は、都内で実施される本選考において選考委員へ実際にプレゼンテーションを行っていただきます。メールの内容を熟読の上、本選考に備えてください。なお、本選考のオンライン参加は認められません。メールに記載されている日時に指定の場所まで足をお運びください。

本選考を辞退される場合は、速やかに事務局へメールでご連絡ください。

（2）本選考（2026 年 2 月実施予定）

一次選考通過者は都内で開催する本選考において、選考委員に向けて、1 人当たり 10 分間のプレゼンテーションを行っていただきます。ここでのプレゼンテーション及び応募書類に基づいて、選考委員が総合的に判断し、15 名程度

の支援アーティストを選出します。

本選考結果については、結果にかかわらず 2026 年 3 月中にメールにて通知を行います。通知に添付される参加承諾書の内容をご確認いただき、承諾する場合はこれに署名し、メール添付にてご返送ください。参加承諾書の受理をもって、支援アーティストに決定します。

支援アーティストは Tokyo Artist Accelerator Program のホームページ及びアートカウンシル東京のホームページで公表します。（詳細は、12（1）を参照）

※本選考の様子はインターネット上に公開する予定です。

※基本的に応募時と同じ内容でプレゼンテーションを実施していただきます。なお、プレゼンテーション・ツール（PowerPoint、Keynote 等）の利用が可能です。応募した PDF と同内容であれば、アニメーション等のアレンジは可能です。ただし、プレゼンテーション時間は 10 分間ですので、ご注意ください。

※PDF 以外での発表を希望する場合は、HDMI 出力が可能な環境（ノートブック PC 等）を応募者が持参する必要があります。

※選考結果の理由については、お答えしておりません。

8. 応募受付期間

2025 年 10 月 15 日（水）10 時から

2025 年 11 月 26 日（水）17 時まで

※本システムの時刻は日本標準時です。

※受付期間を過ぎた応募は一切受け付けません。

※応募受付期間終了日はサーバーの混雑が予想されますので、期日に余裕をもってご提出ください。

9. 応募手順・応募書類

応募は、オンライン応募のみとなります。

応募にあたっては、ホームページ（<https://taap.art>）よりエントリーを行ってください。

（１） 応募手順

Step.1 公募ガイドラインの内容を確認

ホームページ（<https://taap.art>） トップページまたは MENU の「エントリー」をクリックし、エントリーページをご覧ください。同ページ内にある「2025（令和 7）年度の公募ガイドラインはこちら」をクリックし、表示される PDF「公募ガイドライン」（本書）の内容を確認してください。

また、「2025（令和 7）年度の様式はこちら」をクリックし、応募の際に使用する様式を確認してください。

Step.2 事前エントリー

エントリーページ内の事前エントリーフォームより、事前エントリーを行ってください。「応募フォーム URL のご案内」のメールが届きます。メールが届かない場合、お問合せフォームよりご連絡ください。

※迷惑メールフォルダへ入っている場合がございますので、併せてご確認ください。

※メール受信制限をされている方は「@form.run」「@taap.art」を受信できるようにしてください。

Step.3 Tokyo Artist Accelerator program（TAAP）応募フォームへアクセス

受信した「応募フォーム URL のご案内」メールの URL から応募フォームにアクセスしてください。

Step.4 TAAP 応募フォームから応募者情報の入力と応募書類をご提出ください。

※詳細は「（２）Tokyo Artist Accelerator program（TAAP）応募フォーム」を参照ください。

Step.5 応募完了

応募書類が受理されますと、エントリー完了メールが届きます。

※迷惑メールフォルダへ入っている場合がございますので、併せてご確認ください。

※メール受信制限をされている方は「@form.run」「@taap.art」を受信できるようにしてください。

(2) Tokyo Artist Accelerator program (TAAP) 応募フォーム

TAAP 応募フォームにて、応募者情報を入力し、誓約事項等を確認の上、選択や同意を行ってください。

※応募者氏名、現住所はご自身で選択される居住確認書類と同様に入力してください。

※居住確認書類は、日本に居住していることを確認するため、本選考の際に書類（原本）を確認させていただきます。

(3) アップロードが必要な応募書類

ホームページより様式（1種）をダウンロードして作成ください。

① 都内での作品公開（個展、グループ展等）歴（様式あり）

氏名、フリガナ、生年月日、最終学歴を記入し、対象アーティストの条件のどちらか（あるいは両方）に該当するかについて、□にチェックをしてください。

都内での作品公開（個展、グループ展等）について、「開催期間、展覧会等の名称、会場名（住所）」を昇順（古い順）で記入してください。

※バーチャル展覧会、オンライン展覧会は対象となりません。

※開催期間の欄は年（西暦）、月、日の順で開始日と終了日を記入してください。

※会場名（住所）の欄は、ギャラリー等の会場名と（ ）内に会場のある区市町村を記入してください。

※ファイル名は「応募者氏名_公開歴」としてください。

※作品公開歴（個展、グループ展等）は、それぞれ別シートに記載してください。

② アートワーク・プレゼンテーション・データ

以下の条件に則した未発表の作品に関するアートワーク・プレゼンテーション・データを作成してください。

□ファイル形式：PDF

□データ容量：100MB 以内

※データは、下の項目に沿って作成してください。（字数制限なし）

- 1 略歴：スライド 1 枚以内
- 2 アーティストとしての目的：スライド 1 枚以内
- 3 アーティストとしてどのような未来像を描いているか、それに向けた自身の強みと弱みは何か：スライド 1 枚以内
- 4 アーティストとして、自分が美術史上どの位置にいるか：スライド 1 枚以内
- 5 プレゼンテーションする作品は、現在のどのような問いに基づいているか：スライド 1 枚以内
- 6 プレゼンテーションの概要：スライド 1 枚以内
- 7 作品のプレゼンテーション：スライド 10 枚程度

※項目を立てて記載。

※試作の画像等の挿入可。

※映像分野を選択した場合に限り、動画データの提出が可能です(応募フォームにて URL を共有)。動画がある場合もプレゼンテーション時間は 10 分間です。この範囲を超えないよう注意してください。

10. 応募上の注意

- ・ 応募者氏名は、居住確認書類との照合に使用しますので、ご自身で選択された確認書類と同じお名前をご記入ください。
- ・ 同一人物からの応募は 1 回を基本とします。ただし、応募期間内であれば、既にアップロードしたファイルを更新する目的に限り、複数回の応募が可能です。その場合、応募フォームのすべての必須項目へ入力・選択等を再度行い、すべての応募書類を再アップロードしてください。複数回の応募があった場合、最後に応募された情報に基づいて選考します。
- ・ 応募締切後に応募内容を変更することはできません。
- ・ 応募書類の返却はいたしかねます。
- ・ 応募に要する一切の費用（交通費・宿泊費等）は応募者の負担となります。
- ・ 分野の横断を含め、同一人物による複数書類の応募はできません。異なる作品で複数のプレゼンテーションを応募されていると判断されるような場合でも、最後に応募された応募書類を選考の対象とします。
- ・ 応募フォームへの入力内容やアップロードした書類は、ご自身で控えをとることをおすすめします。

11. 個人情報の取扱い

応募フォーム及び応募書類に記入された個人情報は、公益財団法人東京都歴史文化財団の個人情報の保護に関する規定に則り、適正に管理いたします。ただし、審査や事後評価等のため外部有識者や東京都に提供することがあります。また、支援アーティストの活動やアーツカウンシル東京の事業等に関するアンケートを送らせていただく場合があります。

12. 支援アーティスト決定後の対応について

以下の点について、応募前に必ずご確認ください。

- (1) 支援アーティスト決定結果・プレゼンテーション内容の公表
決定された支援アーティストについてアーティスト名、プレゼンテーションの概要等の情報を、Tokyo Artist Accelerator Program のホームページ及びアーツカウンシル東京ウェブサイト等の広報資料で公表します。
- (2) 支援アーティストの取消しについて
支援アーティスト決定に先立って承諾した内容（メンタリング・プログラムや中間報告会、TAAP Live への参加等）に反した場合、支援を取り消すとともに制作支援金の返還義務が発生する可能性があります。
- (3) 支援アーティスト決定後3年程度を目途に、活動状況等についてアンケート調査を行います。調査時にはご回答ください。

13. お問い合わせ先

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP) 事務局

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP) ホームページお問い合わせフォームより
お問い合わせください。 <https://taap.art/>

※よくある質問は、ホームページの FAQ にまとめているので、ご参照ください。

<https://taap.art/faq/>